

福島復興支援事業

桜美林大学

渡邊ゼミ

佐々木悠乃 山田美優

毛利花笑 町田涼香

自己紹介：桜美林大学渡邊ゼミ

- 学群内の観光ホスピタリティプログラムに所属
- 授業では、観光の効用などを学び、ゼミ活動ではそれらを活かした地域活性化策などを研究
- 全国各地域に観光を用いた活性化プランを提案している。



調査地域：松川港町



～調査課題～

➤ 観光の力を生かした、
相馬市松川港町周辺復興策の提案

松川港町の状況

松川港町のもつ 観光資源



松川浦大橋



文字島



相馬野馬追



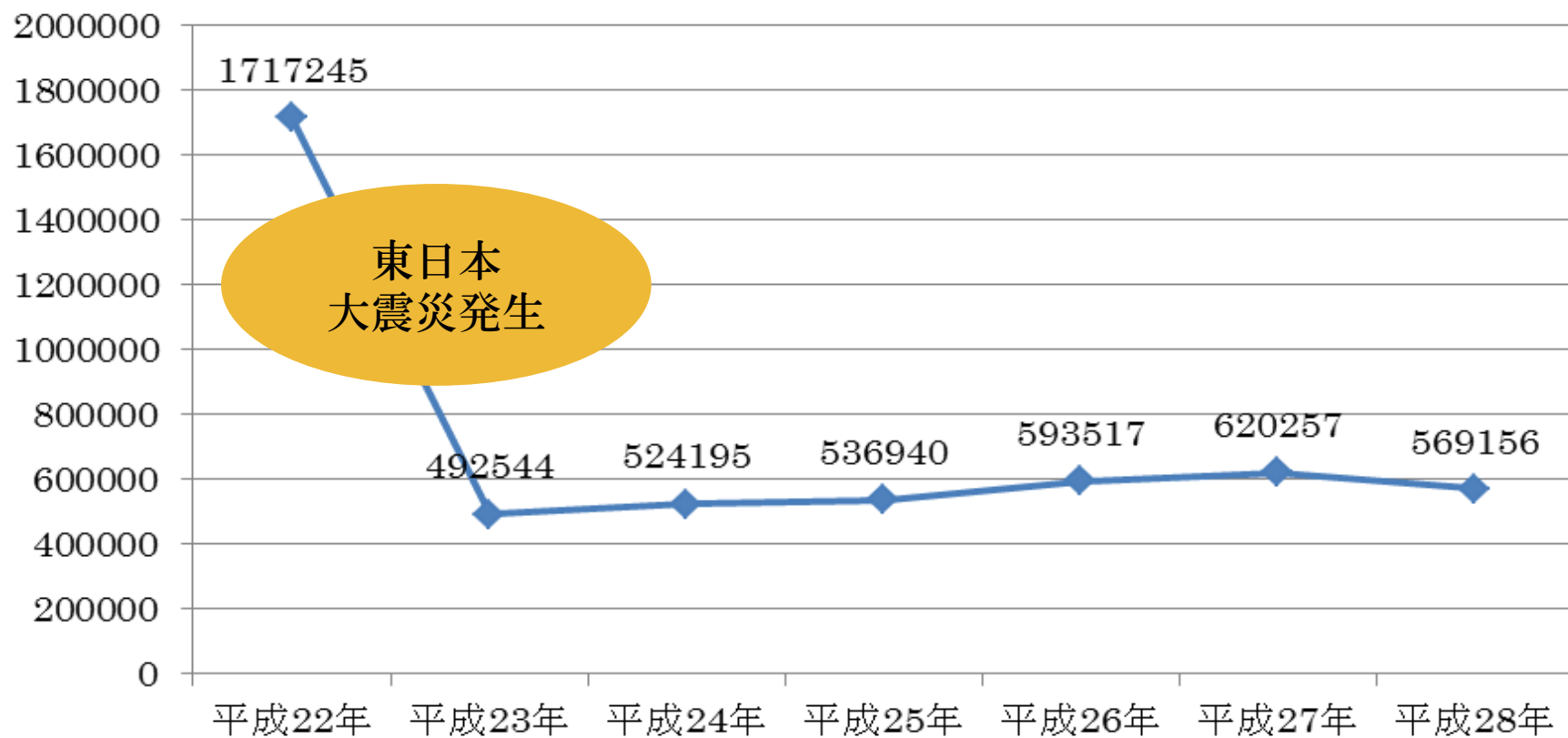
松川浦



百尺観音

相馬市観光の伸び悩み

相馬市観光客入込数（人）



松川港町SWOT分析

	機会	脅威
強み	<p>1. 強み×機会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名産である海苔が2018年2月かき出し解禁され、観光客が多くアウトドアに向いているが、海開きが再開できる ・海開きが再開できる ・高速道路にアクセスしやすくなった ・スポーツ施設が整備され、観光客がしやすい 	<p>2. 強み×脅威</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原発が近いせいで払拭できない風評被害が未だにあり、本格的な漁業を行うことができない
弱み	<p>3. 弱み×機会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なイベントが開催されているが、宣伝力が弱いため、知られている範囲が狭い ・料理教室を行っているが、風評被害が根強く、払しょくには時間がかかっている ・相馬野馬追など大きいイベントが開催されても、地域住民の観光に対する意識の格差があるため、受け入れ態勢が整わない ・空き地が多いため、大きなイベントがしやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・余震が今観光施設や観光資源の消失により、足を運ぶきっかけがない ・今もなお続く影響で、「東日本大震災」のイメージが払拭されない ・加工する場所がないため、他県に出荷できない

・原発が近いせいで払拭できない風評被害が未だにあり、本格的な漁業を行うことができない

松川港町が抱える問題点

津波の被害による

観光施設・観光資源の減少

風評被害

本格的な漁業を行えない

プロモーション力が低い

観光の魅力が発信ができない

住民の**意識**のばらつき

復興が思うように進まない


松川港町が抱える問題点


風評被害

PR力
の低さ

観光施設・
資源の不足

住民の
意識のばらつき

- 
- ① 新規顧客を獲得する
 - ② 震災前に訪れていた観光客を呼び戻す

- 
- ③ 地域の一体感を作り出す

求められる解決策

①新規顧客を獲得する

新規顧客が定まっていない



観光地を新たに創出
今ある観光資源を最大限に活用



訪れてみたくなるような
観光地にする

①新規顧客を獲得する

- 勉強合宿
- ホームページの改善
- SNS
- プロモーションビデオ
- 日本酒ラベル改正
- どんこ水族館
- ビーチナイト
- マーメイドヨガ
- 海上マーケット
- 屋形船
- コンテナホテル など

勉強合宿

学問の神様

相馬中村神社 北野天満宮
菅原道真を祀っている



勉強合宿

ポイント

- ① 松川浦の景観、静かな環境
- ② 松川浦地域オリジナルの勝負メシ
- ③ 北野天満宮にて参拝



「勉強するなら、相馬松川浦地域！！」

イメージ付けが出来れば、
リピーターの獲得にもつながる

②震災前に来ていた観光客を呼び戻す

- 震災前の松川港町には90万人の観光客が訪れていた



- 震災前に訪れていた観光客に向けた企画を提案し、きっかけを作ることで観光客数を回復させる

②震災前に来ていた観光客を呼び戻す

- グルメサーフィン大会
- フィッシュラン
- マリンスポーツ
- カレンダー作成
- PV
- 地域の食材を使った新メニュー開発（海鮮グラタン、めひかりハンバーガー、どんこつくね串）
- 日本酒ラベル改正案
- どんこ水族館

など

グルメ×サーフィン大会

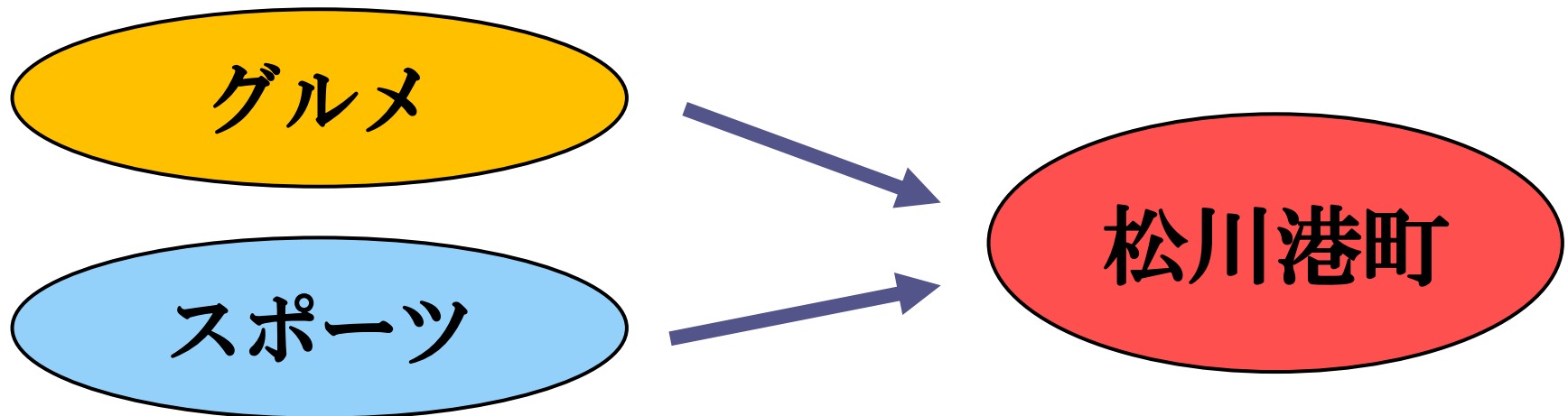
- 震災前に行われていたサーフィン大会を再び開催する
- 大会にて松川港町自慢の料理をふるまう
- 景品は相馬自慢のお酒やグルメ出店のお食事券を授与する



グルメ×サーフィン大会

ポイント

- ①松川港町名物(グルメとスポーツ)を掛け合わせることで、グルメ目的で来ていた観光客と、サーフィン目的で来ていた観光客を同時に呼び戻すことができる
- ②スポーツの町としてマリンスポーツもアピールできる



③地域の一体感を創り出す

- 現在、地域住民は、観光を推進し、地域を活性化することに対し、様々な意見が存在している



- 観光の力を活用することで、地域住民の意見の一致を図る



- 地域住民が協力し合うことで地域の活気を取り戻すことができる

③地域の一体感を創り出す

- TOKOHANAプロジェクト
- 豊漁祭
- 風船×種
- 藤の花植樹
- クリーン大作戦
- ビーチフェス

③TOKOHANAプロジェクト

TOKOHANAプロジェクトとは？

震災後新たに建設された地区に共に生きる



これらのイベントを取り組むにあたり…

- 事前にイベントの打ち合わせや説明会が重要
- その際、観光が地域振興に有効であることを説明し、理解を求める
- イベントの説明会では桜美林大学生も参加

期待される効果

リピーターを獲得

観光客の創出

海産物の安全性をアピール

風評被害払拭

地域の良さが活かせる

資源を活用

若者へ地域の魅力を伝える

知名度向上

住民同士の団結力を生む

地域の一体化

企画提案後の想定される松川港町

- 震災前に松川港町を訪れていた観光客が戻ってくる
- これまで訪れていなかった新たな層が、観光に訪れるようになる
- 観光の力で松川港町に活気が戻ってくる



参考文献

- 「東北の復興について」 復興庁
- 「福島県観光入込客数」 福島県商工労働部観光交流局観光交流課
- 福島復興ステーション
- 「相双地方ってこんなところ」 相双ビューロー
- 東北農政局
http://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/toukei/nenpo/61_hukusima.html
- 内閣府

- 松川浦観光振興グループ <http://matsukawaura.com/>
- 相馬市観光協会 オフィシャルサイト <http://soma-kanko.jp/>
- 福島県ホームページ
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/life/2/>

最後に

- 松川浦旅館組合の皆様をはじめ、たくさんのご協力をありがとうございました。
- これを通じて地域振興に関する多くのことを学ぶことができました。
- 私たちの提案により、地域が一体となり、震災前以上に活気のある松川港町になることを願います。